

**製品名: MKP-5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13936**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	52kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DUSP10
別名	DUSP10; MKP5; Dual specificity protein phosphatase 10; Mitogen-activated protein kinase phosphatase 5; MAP kinase phosphatase 5; MKP-5
遺伝子 ID	11221.0
SwissProt ID	Q9Y6W6
免疫原	MKP-5 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 330-410

**背景**

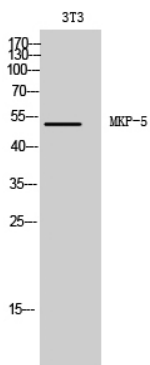
二重特異性ホスファターゼ 10 (DUSP10) ホモサピエンス 二重特異性タンパク質ホスファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基

とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することにより、標的キナーゼを不活性化します。細胞増殖および分化に関連する MAP キナーゼスーパーファミリーのメンバーを負に制御します。この二重特異性ホスファターゼファミリーのメンバーはそれぞれ、MAP キナーゼに対する基質特異性が異なり、組織分布および細胞内局在が異なり、細胞外刺激による発現誘導様式も異なります。この遺伝子産物は p38 および SAPK/JNK に結合して不活性化します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 4 月]、触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。、触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。、機能: MAP キナーゼの不活性化に関与する。MAPK11/MAPK12/MAPK13/MAPK14 サブファミリーに特異性を持つ。、類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。、類似性: ロダネーゼドメインを 1 つ含む。、類似性: チロシンタンパク質ホスファターゼドメインを 1 つ含む。、

## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;

## 画像データ



MKP-5 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析